

防災拠点の設置および
災害時相互支援体制構築事業
広域研修A 資料（抜粋）

2021年10月22日 実施

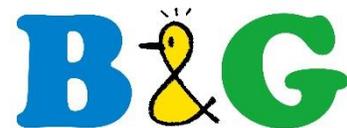
主催：B&G財団

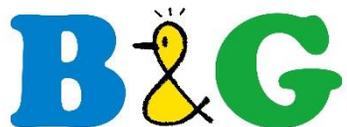
「防災拠点の設置および災害時相互支援体制の構築事業」

広域研修 A

日時:2021年10月22日(金) 13:30~16:50

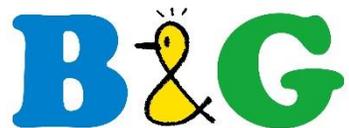
公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団





本日のスケジュール

時間	プログラム	担当
13:30 (10分)	挨拶	B&G 財団
13:40 (30分)	拠点紹介 (代表者1名から挨拶。1拠点1分程度)	参加者
14:10 (60分)	講義 (質疑応答含む)	講師 後藤 武志
15:10 (10分)	休憩	
15:20 (10分)	研修について	B&G 財団
15:30 (20分)	特色のある研修計画 (2自治体)	参加者 ※別途ご連絡いたします
15:50 (20分)	重機メーカー担当による重機説明	三菱ふそう・新明和工業 ヤンマー建機
16:10 (10分)	休憩	
16:20 (30分)	事務連絡	B&G 財団
16:50	終了	



講演

「自治体と消防の連携について」

一般社団法人 危機管理教育研究所
講師：後藤 武志

どうする！災害対応

～消防と自治体の2組織間の災害時における連携について～

【無断複製禁止】一般社団法人危機管理教育研究所

令和3年10月22日

B&G財団「防災拠点事業」広域研修A 資料

(一社) 危機管理教育研究所

上席研究員 後藤武志

長野県飯田市危機管理室 次長

総務省 災害マネジメント総括支援員

総務省消防庁 災害情報伝達手段に関するアドバイザー

人と防災未来センター Disaster Manager(Gold)

危機管理士@1級・日本危機管理防災学会会員

連絡先: ic1578@city.iida.nagano.jp

自己紹介・・・



<所属経歴>

昭和63年4月飯田市採用、平成21年4月に危機管理・交通安全対策室防災係に配属。平成24年4月から防災係長。平成30年4月から次長補佐。令和3年4月から次長。

<公職等>

[令和3年度]

総務省 災害マネジメント総括支援員
総務省消防庁 災害情報伝達手段に関するアドバイザー
総務省消防庁 地上デジタル放送波を活用した情報伝達手段の技術ガイドライン策定等に
係る検討会委員

[これまで]

総務省消防庁 災害情報伝達手段への一斉送信機能の導入促進に関する検討会委員
総務省消防庁 防災行政無線等の戸別受信機の標準的なモデル等のあり方に関する検討会委員
一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構
土砂災害に対する地域防災力の向上支援施策に関する研究会委員

<主な災害・危機事案対応>

平成21年5月：新型インフルエンザ対応、8月：駿河湾沖地震（警戒本部設置）
（県内初の感染者発生、イベント主催者として記者会見を経験）
平成22年7月：集中豪雨に伴う災害対策本部設置及び対応（2,200人が孤立）、避難指示発令
平成23年3月：東日本大震災では、16日の南相馬市からの避難者移送隊の派遣に関して後方支援に従事
したほか、その後、福島・宮城・岩手の被災地等へ延べ5回ボランティア活動等に赴く
平成25年9月：台風18号に伴う災害対策本部設置・対応（1,000箇所以上土砂災害発生）
平成26年2月：大雪対応（災害警戒本部設置）、7月：南木曾土石流対応
平成28年4月：熊本県益城町にて、先遣隊として被災建物調査・り災証明書の申請等の業務立ち上げ支援に従事
平成29年7月：福岡県朝倉市からの災害応援要求（法67条）に対して被災地支援へ。
被災家屋調査へのアドバイス・避難所運営記録などに従事
令和元年9月：千葉県君津市へ災害時相互応援協定に基づき災害対策本部運営支援に従事
令和元年10月：中野市、飯山市へ長野県災害時相互応援協定に基づき先遣隊として支援、長野市危機管理
防災課への訪問とアドバイス、総務省災害マネジメント総括支援員として佐久穂町支援。
令和2年7月：1か月に及ぶ豪雨災害（1名犠牲）に対応。災害対策本部設置、災害救助法適用。

<実績>

平成25年度内閣府主催・防災教育チャレンジプランにて、飯田市赤十字奉仕団が応募した「郷土にまつわる災害伝承紙芝居の作成と活用」が防災教育優秀賞を受賞。この活動を事務局としてサポート。飯田市内をはじめ全国各地で防災講演・職員研修等を年90回以上行っているほか、市オリジナルの「地区防災計画策定の手引」の作成、災害時の初動対応をカード化した「First Mission Box」、シールで手軽に楽しみながら立案できる「わが家の避難計画づくり」、各家庭が友人・親戚宅等を独自に避難先として事前に協定を締結する「災害から命を守るパートナーシップ協定」など新たな手法を開発し展開している。また、危機管理士1級の第1期生・県内初取得者として各メディアへの出演も多数行っている。

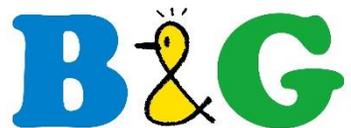
<資格等>

・日本危機管理士機構
危機管理士1級
・人と防災未来センター
DisasterManager(Gold)

<被災地視察・支援等>

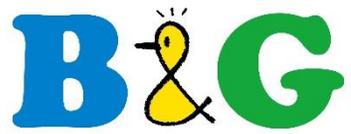
・東日本大震災
（宮城、岩手、福島、柴村）
・東北豪雨（只見町）
・紀伊半島豪雨
（新宮市、十津川村）
・平成23年九州北部豪雨
（日田市）
・平成26年集中豪雨
（南木曾町、広島市）
・神城断層地震（白馬村）
・熊本地震（益城町他）
・糸魚川市
・平成29年九州北部豪雨
（朝倉市）
・大阪北部地震（茨木市）
・北海道胆振東部地震
（厚真町）
・令和元年台風15号災害
（千葉県君津市）
・令和元年台風19号災害
（中野市・飯山市・
長野市・佐久穂町）





休憩

開始時間 : 15:20~



特色のある研修計画(2自治体)

「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業

拠点研修A

研修計画事例発表 【静岡県牧之原市】

防災拠点事業「避難所研修計画」(案)

○ 研修計画の概要

実施時期：令和4年2月(予定)

実施場所：体育館

実施内容：避難所開設訓練(会場設営、運営)

対 象：自治体職員、静岡市消防局牧之原消防署、地元自治会(外国人含む) 計 30名 程度

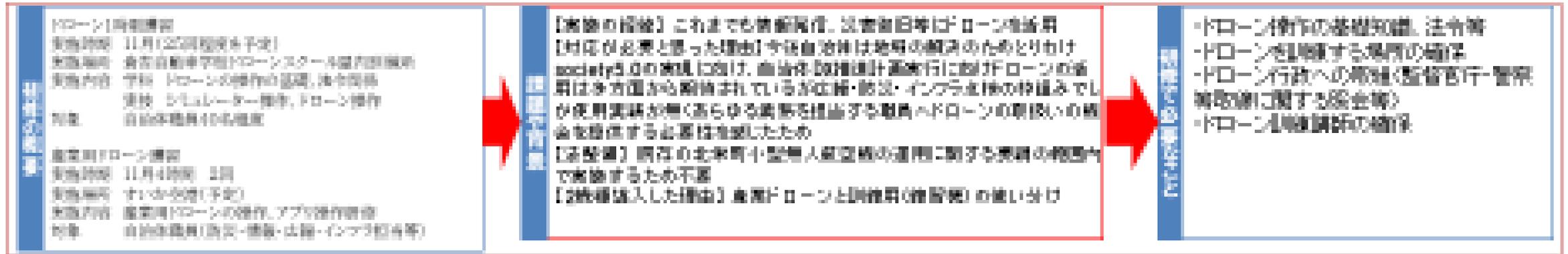
○ 研修の課題や背景

現在、牧之原市では年2回、夏期に総合防災訓練、冬期に地域防災訓練を実施している。牧之原市では、各分野ごとに16班からなる災害対策編成を取っている。各班この防災訓練時に各班の訓練計画を作成し、実動訓練も含めて研修を行っている。

近年では、豪雨災害や、台風など、昼夜に関係なく出勤を余儀なくされることも多く、特に閉庁時、夜間の初動体制や、職員の動員等について多くの課題が露呈してきている。課題として、夜間時に必要な資機材の不足や、感染症に対応した避難所の運営について検証や訓練を重ねる必要がある。

また、東日本大震災以降、災害時に市内在住の外国人にも安心、安全な環境を提供する必要性が取り沙汰されており、その言語対応に大きな壁を感じていた。

防災拠点事業「ドローン研修計画」(案)



現在の状況(写真や統計資料など)



運営体制

鳥取県 北栄町

自治体職員 40人程度

企画調整課

総務課

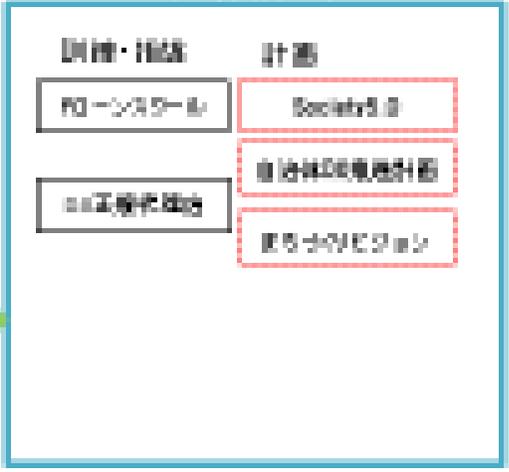
その他(各課)

ドローン行政、例規

訓練・災害対応

今後の取組に期待

協力団体等

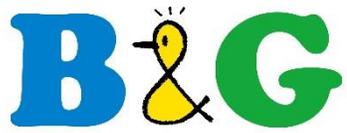


連携



※赤枠=新たに参画してもらいたい部署や団体

ドローン活用



メーカー担当者による重機説明

●スライドダンプについて

新明和工業株式会社

西川 将史 氏

三菱ふそうトラック・バス株式会社

福崎 浩二 氏

●油圧ショベルについて

ヤンマー建機株式会社

影山 貴久 氏



後方超小旋回ミニショベル
Vi025/30/35/45/55-6

YANMAR

ワンタッチオープンボンネット

後部ボンネット

右ボンネット



YANMAR

ローダーダンプのご案内

操作方法、注意事項等



2021年10月22日

新明和工業株式会社

特装車事業部 東京営業部
西川 将史

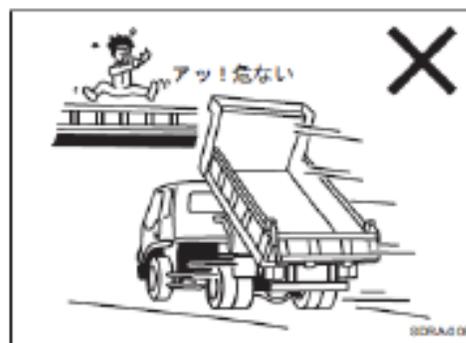
• 荷物を最大積載量以上に積まないでください。
ブレーキの利きが悪くなったり、各機構部を損傷させる恐れがあります。



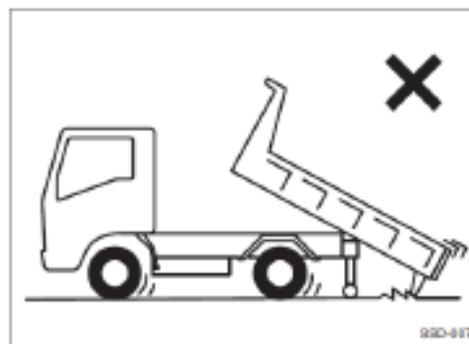
• 荷物は平らに積んでください。
積み荷が片寄った状態で走行すると、
カーブ等で車の傾きが大きくなり転倒の恐れがあります。

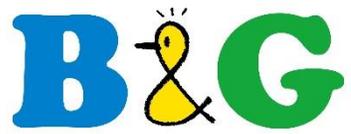


• 荷台は走行状態位置に戻して走行してください。
荷台を上げたりスライドした状態で走行すると、
装置の破損や車両の転倒、架線等の破損の恐れがあります。



• ご使用前に周囲に人がいないか確認ください。





事務連絡
